

Spec

価格:4万2984円
 本体サイズ:77×68×58mm
 通話時間:約10時間(環境により異なります)
 充電時間:約3時間
 ブルートゥースプロファイル:
 HFP、A2DP、AVRCP

特徴

- 約1600mのインターコム通話が可能(見通しの良いところ)
- 4人でわいわいおしゃべり、マルチウェイインターコム機能
- インターコム通話時、沈黙してもノイズが入らない
アドバンスノイズ削減機能
- ミュージックシェア機能
- 内臓FMチューナー
- 全天候対応
- 指定ヘルメット専用設計
SHOEI:GT-Air、Neotec Arai:フルフェイス型ヘルメット
- ハンドルバーリモコンで手元操作が可能



Point_5

マイク&操作ボタンもはさむだけ



「+」「-」ボタンの操作部と一体になったマイクユニット。これも頬部のライナーを挟むようにペロを差し込み、頬パッドのスナップに穴を合わせて固定するだけ。マイクのあしらいがスマートだ

ハンドルバーリモコン

10Uのキーデバイスともいえるのが「ハンドルバーリモコン」。原則として10Uの操作はマイクユニットのボタンではなくこのリモコンで行う。左側のグリップに挟み込むようにして取付けると、ちょうど親指でフロントボタンとジョイスティック、人差し指でリヤボタンが操作できる位置にくる。ハンドルから手を離すことなく10Uの操作すべてができるため、快適なうえに何より安全だ。



強力なバネの力でハンドルバーを挟み込む

フロントボタン
 インターコムのペアリングやインターコム通話の開始・停止、電話の着信拒否。音声設定に使用する

リヤボタン
 ケータイ・スマホの通話の応答・終話、スピードダイヤル(短縮ダイヤル)の呼び出し、FMラジオのオンオフに使う

ジョイスティック
 電話のペアリング、音量調整、音楽の再生・停止と頭出し、FMラジオの選局、機能設定操作を行う



Spec
 本体サイズ:84.4×50.7×24mm
 連続使用時間:3か月(環境により異なります)
 充電時間:約2時間
 ブルートゥースプロファイル:GAP、GATT
 ※製品仕様は変更になる場合もあります。

Point_4

スピーカーは専用ステーでスッキリ



スピーカーは板状のスナップホルダーというパーツを取付たうえで、その穴を頬パッドのスナップに合わせて固定。さらにイヤパッドの3カ所の穴に突起を差し込むため正確に位置が決まる

Point_1

バッテリーはコンパクトに収まる



バッテリーユニットはライナーの後頭部下面に取付ける。厚みが5mm弱と薄く、首を動かしても邪魔にならない。色も内装と同じ黒なので、パッと見にはほとんど付いていないことが分からない



取付けも簡単

外側のペロを帽体とライナーの間に差し込むようにして取付ける。内側のペロの穴がライナーのスナップの位置に合うので、その上からセンターパッドを取付ける。位置は専用部品のため正確に決まる

マイク、スピーカー、バッテリー、アンテナとコンポーネント化された10Uは、そのすべてがヘルメットの中に納まるのが最大の特徴。いずれも内装のスナップをガイドに固定する仕様だ

ヘルメット内にすべてを集約
 手元のリモコンで簡単操作

ヘルメットの左側を見れば、そのライダーがインターコムを使っているかどうか分かる……そんな常識を覆すのが、セナから新たにデビューする「10U」だ。
 10Uは従来のインターコムのような、メインユニットが存在しない。ケーブルで結ばれたマイク、スピーカー、バッテリー、アンテナというコンポーネントがあるだけで、帽体の表面に取付けるような、本体にあたるものはない。ボタンやダイヤルが付いた本体がないため、10Uではヘルメット側システムとBluetoothワイヤレスで接続されたハンドルバーリモコンが付属し、手元の操作で対応する。さらに、リストバンドリモコンも同様に使える。もうひとつの特徴がヘルメット専用部品となっていることだ。ライナーはシヨウエイのGT・Airとネオテック用、アライのフルフェイス用。各ヘルメットの内装に合わせて設計されているため、スムーズでスマートな取付けを実現している。シンプルさを追求するとスペックに妥協があるというものだが、10Uのそれはハイエンドクラス。約1600mの通信距離、最大4人での同時通話、音楽共有にFMラジオも搭載。10Uは全方位の機能と性能に革新的なスマートさを備えたまったく新しいインターコムなのである。

Point_3

アンテナは隙間に収まる



10Uはアンテナも外に露出しない。長いヘラ状のアンテナは、左側の帽体とライナーの間に差し込み、内側のペロの穴を頬パッドのスナップに合わせて、頬パッドで挟むようにして固定する

Point_2

microUSBを装備



バッテリーユニットにはマイクロUSB端子と充電時に点灯するLEDランプが装備されている。バッテリーの充電や、ファームウェアのアップデートが可能だ。ゴミの侵入防止のカバーも付く